

第 5 学 年 音 楽 科 学 習 指 導 案

5 年 1 組 指 導 者 石 田 千 陽

題 材 四 季 に 合 わ せ て

1 本 題 材 で 子 供 が 創 出 と 受 容、 転 移 を 行 う 各 教 科 等 の 本 質 (見 方 ・ 考 え 方)

旋律と歌詞の内容と自己のイメージや感情を関連付けること

2 本 題 材 に つ い て

これまで、音楽科の授業において、音楽を形づくっている要素と自己のイメージや感情、生活や文化を関連付けながら学習を行ってきた。しかし、子供たちが新たな曲に出合った際、関連付けることによさに触れないまま学習を終えることがあるため、自ら関連付けようとする姿が見られることは少ない。このような子供たちが、旋律と歌詞の内容と自己のイメージや感情を関連付けることによさを自覚する学習に取り組む。そうすることで、より音楽を豊かに捉え、表現することの楽しさを味わうことができるようになっていくと考える。

本題材では、関連付けるものとして「旋律」「歌詞の内容」「自己のイメージや感情」を取り上げる。これら3つは、比較的子供たちが着目しやすい視点であり、関連付けるという思考を働かせやすい。さらに、題材のテーマを子供たちがイメージをもちやすい「四季」に設定し、歌唱活動に取り組む。そうすることで、曲の特徴にふさわしい表現ができたかどうか振り返り、関連付けることによさを自覚することができる。そして、今後の音楽科の学習において、新たな曲に出合った際、自ら関連付けるという思考を働かせることを期待したい。

そこで、以下のような支援を具体化し、本題材でめざす子供の姿の実現を図る。

- 季節をテーマとした複数の曲を提示し、どの季節の曲か問う。そうすることで、無自覚に旋律と歌詞の内容と自己のイメージや感情を関連付けることができるようにする。【創】
- どうして曲の特徴にふさわしい表現ができたのか、振り返るよう促す。そうすることで、「曲の特徴にふさわしい表現ができるようになる」について旋律と歌詞の内容と自己のイメージや感情を関連付けることによさを自覚することができるようにする。【受】
- 新たな曲を提示しどのように表現するか考えるよう促す。そうすることで、自覚的に旋律と歌詞の内容と自己のイメージや感情を関連付けて表現することができるようにする。【転】

3 本 題 材 の 目 標

- 旋律と歌詞の内容と自己のイメージや感情を関連付けることで、曲の特徴にふさわしい表現で歌おうとすることができるようにする。
- 歌唱活動の楽しさを味わうことをとおして、生活の中でより音楽に親しみをもつことができるようにする。

4 本 題 材 に お け る 評 価 規 準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
○ 曲想と旋律や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○ 呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌っている。	○ 曲の特徴を捉え、その特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○ 曲の特徴を捉えて表現することに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。

5 指 導 計 画 (全 4 時 間)

第 1 次 旋律をもとに曲の表す季節を捉え、表現する（2時間）

第 2 次 四季に合わせて表現する（2時間）【本時 1 / 2】

6 本時案 【令和4年10月22日 10:20~11:05 音楽室】

(1) ねらい 旋律と歌詞の内容とイメージや感情を関連付けながら表現方法について考えることをとおして、曲の特徴を捉え、その特徴にふさわしい表現を工夫することができるようにする。

(2) 学習過程 ※一重下線は創出、二重下線は受容、破線は転移に対応する子供の意識

学習活動・学習内容	子供の意識	○教師の支援
<p>1 「スキーの歌」の表現方法について話し合い、表現する。(35分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律と歌詞の内容と自己のイメージを関連付けること ・曲の特徴にふさわしい表現 ・思いや意図をもって表現すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>今日からは、旋律と歌詞とイメージや感情を関連付けながら歌っていこう。</u> ・この曲はスキップしている感じがするね。 ・旋律が「こいのぼり」に似ていて、元気な感じがするよ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>この曲の特徴に合う表現をするには、どのように歌えばよいのかな。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・きっと夏の曲だから、明るい声ではっきり歌うとよいのではないかな。 ・歌詞を見てみよう。あれ、小雪やストックという言葉が出てくるよ。 ・夏だと思ったけれど、冬の曲で「スキーの歌」というのだから。 <p>A 元気な感じは夏ではなくて、スキーのスピード感を表していると思うよ。</p> <p>B <u>関連付けて考えると、明るい感じは必要だけれど、雪の上を滑っているから少しなめらかに歌ったら「スキーの歌」に合うのではないかな。みんなで歌ってみよう。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぴったりな歌い方ができた気がするよ。 	<p>○新たな曲を提示した際、関連付けるとよい視点は何かと問うことで、自覚的に旋律と歌詞の内容と自己のイメージや感情を関連付けようとするができるようにする。【転】</p> <p>○関連付けながら表現を工夫しようとする発言を取り上げ、全体で試すよう促すことで、自覚的に旋律と歌詞の内容と自己のイメージや感情を関連付けて表現することができるようにする。【転】</p>
<p>2 「関連付ける」ことを意識した表現について振り返る。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律と歌詞の内容と自己のイメージを関連付けることのよさ 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>表現するときに、「関連付ける」ことを意識してみてどうでしたか。</p> </div> <p>A <u>やっぱり関連付けることで、最初に歌ったときよりもぴったりな歌い方ができたよ。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は難しかったけれど、関連付けることで、何も考えずに歌うよりもこのように歌いたいという思いをもつことができたね。 <p>B 他の曲を歌うときも、関連付けて考えるとその曲にぴったりな表現ができそうだよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の時間に、関連付けながらいろいろな曲を表現していこう。 	<p>○「関連付ける」という思考を働かせて表現してみてどうだったか振り返るよう促すことで、旋律と歌詞の内容と自己のイメージや感情を関連付けることのよさを改めて自覚することができるようにする。【受】</p>

7 創る科における子供の学びと本題材との関連

本題材では、「関連付ける力」を発揮して学習を進めていく。音楽科の見方・考え方の中にも「関連付ける」ことが重視されている。創る科において、複数の事象を関連付け、課題を解決する学習を繰り返すことで、この力を発揮させることのよさを味わうことができるようにする。そうすることで、音楽科において、この力を自在に使いこなし、季節をモチーフとした曲の特徴を捉え、自ら進んでその特徴にふさわしい表現を工夫することができるように考える。